

2019年度

神戸市看護大学大学院

看護学研究科

<博士前期課程>

科目等履修生

募集要項



Graduate School of Nursing, Kobe City College of Nursing

2019年度より公立大学法人へ移行する予定です。

2019 年度大学院博士前期課程科目等履修生募集要項

1 募集人員 各科目 若干名

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 大学（学校教育法第 83 条に定める大学をいう。以下同じ。）を卒業した者又は 2019 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者又は 2019 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2019 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目をわが国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2019 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者又は 2019 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は 2019 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号）
- (8) 大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本大学院が認めた者
- (9) その他本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

◆出願資格認定申請について◆

出願資格(9)により出願される場合は、入学試験出願資格認定申請書・認定基準一覧表（審査希望の欄に○の入ったもの）と合わせて、下記の書類を一括して出願期間に出願書類とともに提出してください。

認定基準：次の①～③のすべてに該当し、さらに④～⑧のうち少なくとも 1 つの条件を満たしていること。

④⑤⑦⑧の書類は写しで可

出 願 資 格	提 出 書 類
①短期大学を卒業していること、又は専修学校・各種学校等を修了していること	短期大学又は専修学校・各種学校等の卒業（修了）証明書
②看護師、保健師、又は助産師の資格を有すること	看護師、保健師、又は助産師免許証の写し（A4 サイズに縮小したもの）
③上記②の資格で、5 年以上(実質)の実務経験があること	在職期間証明書（5 年以上の実務経験が確認できるもの）
④研修学校（厚生労働省、看護協会、都道府県など公共又はそれに匹敵する機関の 6 ヶ月以上の看護教員養成課程）又は継続教育（看護管理者養成課程セカンドレベル以上・アドバンス助産師等）を修了していること。	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省、看護協会、都道府県など公共又はそれに匹敵する機関の発行する看護教員養成課程修了証明書 ・看護管理者養成課程セカンドレベル修了証明書等
⑤認定看護師の資格を有すること	認定看護師認定証

⑥大学院の研究生として在籍している、または在籍したことがあり、成果を修めていること	大学院研究科在籍証明書（本学研究科所定の用紙）
⑦業績（学術・専門雑誌での論文掲載等）を有すること	業績一覧（本学研究科所定の用紙）、および発表論文のコピー1部
⑧6ヶ月以上の国際看護活動を行った経験があること又は実用英語検定準1級（TOEFL520点、TOEIC640点、その他同等）以上に相当する英語力を有すること	<ul style="list-style-type: none"> ・国際看護活動に従事した機関等が発行する証明書 ・実用英語検定合格証明書 ・TOEFLスコアレポート ・TOEICスコアレポート

不明な点がありましたら、本学総務課（電話 078-794-8080）までお問い合わせください。
 なお、出願資格認定審査により出願資格が認められない場合は、結果の通知とともに出願書類一式を返却します。

3 入学時期及び履修期間

入学時期は2019年4月または2019年10月とし、履修期間は1年以内とします。

4 履修科目

(1) 開講する科目

「9 2019年度開講科目一覧表」のとおりです。

※履修希望者は必ず出願前に受講希望科目の担当教員に相談してください。

※本学大学院生の履修登録がない場合は非開講となりますので、ご了承ください。

(2) 履修できる科目数

毎学期（前期、後期）とも、4科目を限度とします。

5 出願手続

(1) 出願期間

4月入学・・・2019年1月15日（火）～1月18日（金）

10月入学・・・2019年8月19日（月）～8月23日（金）

※出願期限は、出願期間の最終日17時必着とします。出願期限後に到着した場合は受付しませんので注意してください。

(2) 出願方法

① 出願者はあらかじめ受講希望科目の担当教員に電話・Eメールで相談してください。
 ※教員連絡先は4ページを参照してください

② 出願者は、出願書類を一括して封筒（角形2号）に入れ、持参又は「速達書留」で郵送してください。ただし、持参による受付は、上記期間中の9時～12時、13時～17時までです。

(3) 出願書類

必要な書類	作成方法
志願票 (A～D票)	本学所定の用紙を用い、必要事項を記入してください。 写真は、出願前3か月以内に撮影したもの（上半身、無帽、正面、無背景、縦4cm×横3cm）で、写真裏面に氏名、生年月日を記入の上、はがれないように糊付けしてください。 10月入学の場合はC票、D票の記入は不要です。
履歴書	本学所定の用紙（志願票A票裏面）を用い、必要事項を記入してください。

履修希望理由書	本学所定の用紙を用い、必要事項を記入してください。
卒業（見込）証明書 及び成績証明書	最終学歴の卒業（見込）証明書及び成績証明書を提出してください。
選考料	9,800円 ※郵便局で購入した普通為替証書を同封してください。 (受取人指定欄は一切記入しないでください。)

〈注意事項〉

- (1) 出願書類が全て揃っていない場合は受理できませんので、出願の際には十分注意してください。
- (2) 出願書類受理後は、出願書類及び選考料は、理由のいかんを問わず返却しません。

(4) 出願先

〒651-2103 神戸市西区学園西町3丁目4番地
神戸市看護大学 総務課
電話 078-794-8080

※2019年4月より公立大学法人へ移行する予定です。

6 選考方法

書類審査

7 選考結果の発表

(1) 発表日

4月入学 2019年2月15日（金）
10月入学 2019年9月13日（金）

(2) 発表方法

選考の結果は、全員に郵送でお知らせします。電話等による問い合わせには一切応じません。

8 入学手続

(1) 手続期間

4月入学・・・2019年2月26日（火）～2019年3月1日（金）
10月入学・・・2019年9月17日（火）～2019年9月20日（金）

※手続期限は、上記期間の最終日17時必着とします。期限後に到着した場合は入学を認めませんので注意してください。

(2) 入学手続の方法

選考結果とあわせて郵送する「入学手続に必要な書類」を直接持参、もしくは郵送してください。

(3) 入学金等

種 別	金 額		備 考
入学金	神戸市住民 及びその子弟	29,700 円	「神戸市住民」— 入学の日の1年前から引続き 本市に住所を有する者 「その子弟」 — 神戸市住民の配偶者又は その2親等内の親族
	その他の者	42,300 円	
授業料	1科目につき	29,700 円	納付期限 前期： 5月末日 後期： 10月末日

授業料の改訂が行われた場合は、新しい授業料が適用されます。

9 2019年度 開講科目一覧表

開講期	科目名	単位数 (時間数)	担当教員名	教員直通電話	E-mail アドレス	夜間 開講 (予定)
前期	フィジカルアセスメント	2(30)	谷 知子、他	078-794-8040	tomokot @ tr.kobe-ccn.ac.jp	
	ケアワーク論	2(30)	樫田 美雄	078-794-8074	kashida @ tr.kobe-ccn.ac.jp	
	看護倫理学	2(30)	石原 逸子	078-794-8034	kaeru56i @ tr.kobe-ccn.ac.jp	○
	理論看護学	2(30)	石原 逸子、他	078-794-8034	kaeru56i @ tr.kobe-ccn.ac.jp	
	看護管理学	2(30)	林 千冬	078-794-8051	chifuyu @ tr.kobe-ccn.ac.jp	
	看護キャリア開発学特講	2(30)	グレッグ 美鈴	078-794-8045	m-gregg @ tr.kobe-ccn.ac.jp	
	老年看護学特講	2(30)	坪井 桂子	078-794-8080	gakumu @ tr.kobe-ccn.ac.jp	
	老年健康生活評価	2(30)	坪井 桂子、他	078-794-8080	gakumu @ tr.kobe-ccn.ac.jp	
	老年症候群と治療論	2(30)	坪井 桂子、他	078-794-8080	gakumu @ tr.kobe-ccn.ac.jp	
	老年看護援助論	2(30)	坪井 桂子、他	078-794-8080	gakumu @ tr.kobe-ccn.ac.jp	
	老年保健医療福祉サポートシステム論	2(30)	坪井 桂子、他	078-794-8080	gakumu @ tr.kobe-ccn.ac.jp	
	認知症高齢者看護援助論	2(30)	坪井 桂子、他	078-794-8080	gakumu @ tr.kobe-ccn.ac.jp	
	慢性病看護学特講	2(30)	池田 清子	078-794-8094	ikedata @ tr.kobe-ccn.ac.jp	
後期	フィールドワーク論	2(30)	樫田 美雄	078-794-8074	kashida @ tr.kobe-ccn.ac.jp	○
	看護教育学	2(30)	グレッグ 美鈴、 他	078-794-8045	m-gregg @ tr.kobe-ccn.ac.jp	
	ジェンダーと健康	2(30)	樫田 美雄、他	078-794-8077	mtakada @ tr.kobe-ccn.ac.jp	
	エンド・オブ・ライフケア論	2(30)	坪井 桂子、他	078-794-8080	gakumu @ tr.kobe-ccn.ac.jp	
	小児家族援助論 I	2(30)	二宮 啓子	078-794-8076	ninomiya @ tr.kobe-ccn.ac.jp	
	慢性病治療支援論	2(30)	池田 清子、他	078-794-8094	ikedata @ tr.kobe-ccn.ac.jp	

(注意) 出願前に受講希望科目の担当教員に相談してください。

開講期及び担当教員は変更されることがあります。

科目により、人数制限をする場合があります。

時間割によっては、希望する科目を履修できない場合があります。

大学院生の履修がない場合は非開講となります。

<参考>

講 義 概 要 (平成30年度)

【前期開講科目】

授業科目名	担当教員	講 義 等 の 内 容
フィジカルアセスメント	谷 知子 船木 淳	様々な病態を呈する症例の全身状態を把握することおよび臨床看護診断を行うための必要な知識と技術を指導する。基本的なフィジカルアセスメントの方法および各臓器別のフィジカルアセスメントを教授し、症例を用いた看護判断のシミュレーションを実際に行い病態把握に必要な知識や技術の習得を目的とする。
ケアワーク論	榎田 美雄	上野千鶴子2011『ケアの社会学』（太田出版）を、精読することによって、ケアを総合的にみる態度を養うとともに、対人ケアと現代社会との関わりについて考察する（家族に頼らない暮らしを構想することがなぜ必要か考える）。また、論点総括レポートの作成に挑むことによって、議論を組み立てる力をも養成する。
看護倫理学	石原 逸子	看護の実践現場における倫理的諸問題を解決するのに役立つ指針や仕組み作りの基礎となる知識を学び、臨床の現場で遭遇する倫理的ジレンマについて、その問題点を分析し、関係者間の関係や各々の立場を考慮して、解決策を検討して行く上での看護者としての役割を追求する。さらに、看護や医療現場における倫理的ジレンマや研究、教育に関する倫理的課題を分析し、倫理的課題への対応や倫理的コンサルテーションについて、看護の視点から考察する。
理論看護学	石原 逸子 都筑 千景 江川 幸二 池田 清子 高田 昌代 グレッグ 美鈴	看護学の諸理論を理論構造と特徴の観点から歴史的に概観し、実践の科学としての看護学の特質を考察する。さらに、看護（関連）論文を通読し、理論の実践への適用すなわち科学的根拠に基づく看護実践、及び、実践知に基づく知識の体系化と理論の構築の一連の過程を検討する。
看護管理学	林 千冬	サービスマネジメントにかかわる基本的な概念や理論を取り上げ、これらを医療・看護の現場で遭遇するさまざまな事例を読み解く作業に用いることを通じて理解を深めるとともに、看護管理上の問題解明におけるこれらの有効性と限界についても併せて考察する。
看護キャリア開発学特講	グレッグ 美鈴	国内外のキャリア開発に関する文献検討を基に、自らの経験を事例として、看護専門職のキャリア開発のあり方を追求する。
老年看護学特講	坪井 桂子 *花房 由美子	老年期の発達と老年看護に関する諸理論を学び、人が老いることと援助が必要となった状況の理解を深め、高度な看護実践を行うために基盤となる専門知識を修得する。また、老年看護の実践における倫理的課題とその解決方法、専門看護師の役割・機能を理解する。
老年健康生活評価	坪井 桂子 谷 知子	高齢者が健康な生活を送ることを支えるために必要な専門的な知識・技術を修得する。高齢者の加齢過程で生じる心身の健康課題と健康生活への影響、それらに対する適応と対処について、対象者の生活を支える視点に基づいた包括的なアセスメントの方法を学ぶ。
老年症候群と治療論	坪井 桂子 *石川 雄一 *前田 潔	高齢者が罹患しやすい疾患や老年症候群に関する検査、治療（薬物療法）について理解し、ハイリスク状態にある高齢者の治療の適否の判断や、対象者の状態に応じCureとCareを統合した高度なアセスメントに基づく実践ができるように基盤となる知識を修得する。
老年看護援助論	坪井 桂子 鈴木 志津枝 *長谷川 美智子 *鶴屋 邦江 *花房 由美子 *田中 智子 *宗像 倫子	療養が必要となった高齢者と家族がその人らしく生活を送るために必要とされる看護援助の方法について、高度な専門知識を修得する。
老年保健医療福祉サポートシステム論	榎田 美雄 都筑 千景 坪井 桂子 *前田 潔 *鶴屋 邦江	国内外の知見に基づき、高齢者の保健・医療・福祉の制度・政策に関する現状と課題について明らかにする。高齢者と家族がQOLを維持しながら地域で生活を送るために、利用者の視点からフォーマル、インフォーマルなサポートシステムの現状と課題について検討し、改善・改革に向けて具体的な提言ができる基盤となる能力を修得する。
認知症高齢者看護援助論	坪井 桂子 *田中 智子	認知症の症状、原因疾患、ステージに応じた認知症高齢者の援助方法、認知症の行動心理学的症状（BPSD）に対する援助方法、権利擁護と意思決定支援、個人および集団的アプローチの実際を学び、生活を支える上で基盤となる高度な専門知識を修得する。
慢性病看護学特講	池田 清子	慢性病や慢性性を病者の側から捉え、さらに慢性病による患者・家族の生活や発達課題への影響、ならびに慢性病への対処や反応を理解する上で有用な概念、諸理論やモデルについて学ぶ。これらの学びをとおして慢性病患者や家族の能力を十分に生かす看護援助の開発の基盤となる能力を育成する。

*は非常勤講師

<参考>

講 義 概 要(平成30年度)

【後期開講科目】

授業科目名	担当教員	講 義 等 の 内 容
フィールドワーク論	樫田 美雄	フィールドワークの意義を説明したのち、具体的方法として「参与観察」「インタビュー」「相互行為分析」の3つをテーマとして扱う。更に、先人の報告から、「目の付け所」や「議論の組み立て方」を学ぶ事は欠かせない。従って、同時並行で、研究論文の読解・確認作業も行う。
看護教育学	グレッグ美鈴 *堀田 佐知子	看護学教育のあり方を考察するために、基本的な原理、教育内容などを理解する。さらに看護学教育の充実のために必要とされる看護教育学の研究について検討する。
ジェンダーと健康	藤井 ひろみ 樫田 美雄 *蘭 由岐子 *長谷川 京子	ジェンダーについての基本的な知識（ジェンダー概念、ジェンダーの平等への歴史、現代社会におけるジェンダーに基づく諸問題）を充分理解し、ジェンダーの視点を用いた研究の展開を探求する。受講者が各自のジェンダー意識に気づき、問題意識を持って文献をクリティークできる能力を養う。
エンド・オブ・ライフケア論	坪井 桂子 *花房 由美子 *長谷川美智子 *藤田 愛	人生の最終段階を生きる高齢者に対する援助方法、権利擁護と意思決定支援、緩和ケア方法の実際を学び、生活を支える上で基盤となる高度な専門知識を修得する。
慢性病治療支援論	池田 清子 畑中あかね *馬場 敦子	慢性病をもちながら生活する人々に対する看護援助について、ステージ（病期）・療養特性・ライフサイクルの観点から検討し、治療を継続するために必要な患者と家族への看護援助を理論的・実践的に学ぶ。

*は非常勤講師

2019年度 神戸市看護大学大学院 科目等履修生

A 票

※欄は、記入不要

志 願 票

受付番号

※院

(フリガナ) 志 願 者 氏 名				写 真		
生年月日	昭和 平成	年	月	日	出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面、無背景のもの 縦4cm×横3cm	
住 所	(〒	—)	☎ (—
勤 務 先	都 道 府 県					
緊 急 連 絡 先	(〒	—)	☎ (—	
最 終 学 歴	大 学 学 校	学 科	昭 和 平 成	年	月	a. 卒業(修了) b. 卒業(修了)見込み
履 修 希 望 科 目	履修希望科目(前期)	担当教員	履修希望科目(後期)	担当教員		

（ここから切り離して提出してください）

※出願前に受講希望科目の担当教員に相談してください。

（裏面に履歴書記入票があります。）

履 歴 書

氏 名	
-----	--

学 歴	年 月

	年 月

	年 月

	年 月
職 歴 及 び 経 歴	年 月

	年 月

	年 月

	年 月
免許・資格	年 月

	年 月

※C票、D票は10月入学者は別途お渡しますので記入不要
 ※欄は、記入しないでください。

(ごみ捨ててください)

B 票 選考結果送付先

↓ 選考結果を送付しますので、正確に記入してください。

〒	<input type="text"/>
	都 道 府 県
	様

C 票 2019年度 神戸市看護大学大学院 科目等履修生

領 収 書 (4月入学)

受付番号 ※	
氏 名	

選考結果は、全員に郵送でお知らせします。

領 収 書	領 収 印
平成30年度歳入 一般会計 ¥9,800- ただし、2019年度神戸市看護大学 大学院科目等履修生選考料として上 記の金額を領収しました。 平成 年 月 日 神戸市看護大学 総務課 出納員 小林 良成	

(切り取らないでください)

D 票 原 符 (4月入学)

受付番号 ※	
平成30年度歳入	一般会計
納 入 者	
住所	
(フリガナ)	
氏名	

¥9,800-

ただし、2019年度神戸市看護大学
 大学院科目等履修生選考料として上記の金
 額を領収しました。

平成 年 月 日
 神戸市看護大学 総務課
 出納員 小林 良成

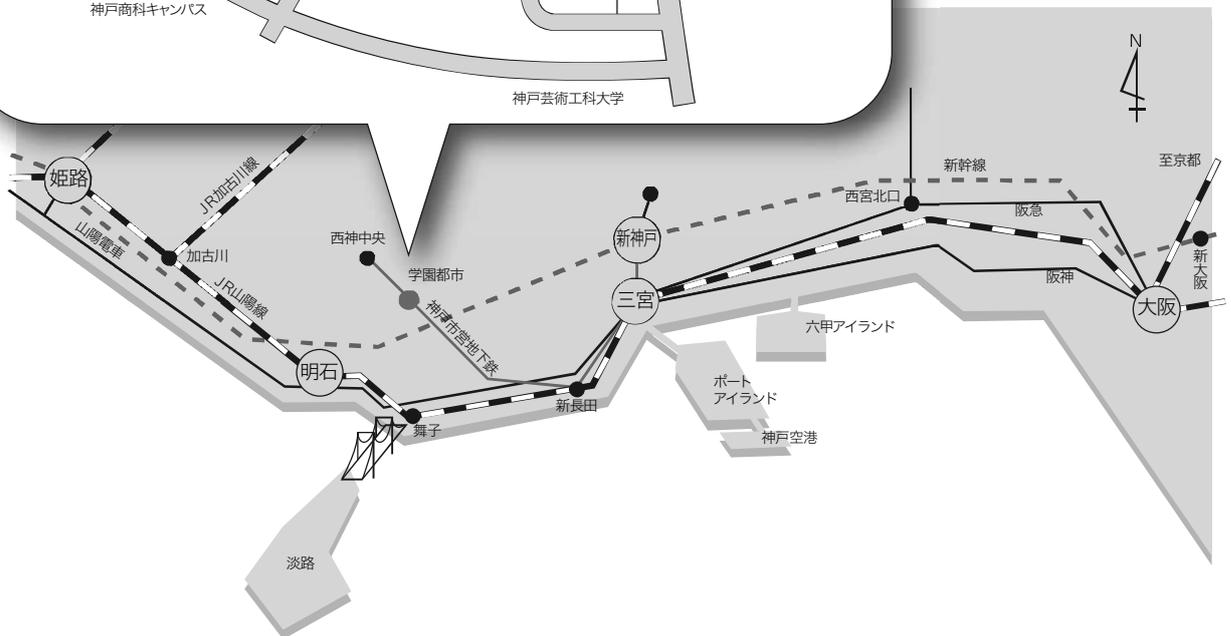
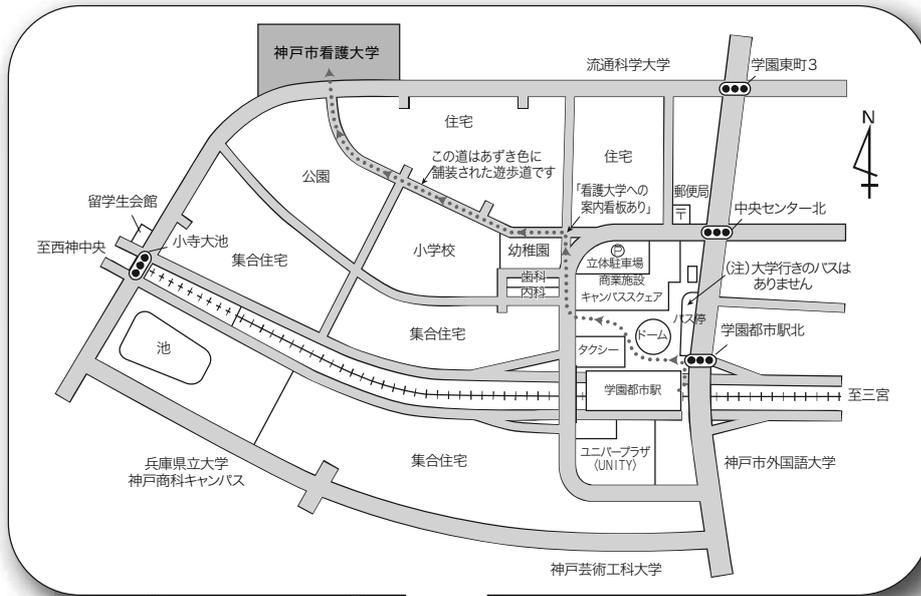
取扱者印	点 検 印

履修希望理由書

受付番号	※院
------	----

(ここから切り離して提出してください)

- (注) 1. 800字程度にまとめてください。(横書き)
2. ※欄は記入不要です。



- 神戸空港からポートライナーで三宮まで約20分
- 三宮から市営地下鉄西神・山手線で約25分
- 新幹線「新神戸駅」から市営地下鉄西神・山手線で約30分
- JR「新長田」から市営地下鉄西神・山手線で約15分
- JR「舞子」から〔市バス
山陽バス〕53、54系統で約25分

市営地下鉄 西神山手線
「学園都市駅」下車
徒歩約10分

神戸市看護大学

〒651-2103 神戸市西区学園西町3丁目4番地

神戸市看護大学総務課

TEL.078-794-8080 FAX.078-794-8086

<http://www.kobe-ccn.ac.jp>

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



この募集要項は、再生紙を使用しています。